

令和6年度 第8号 令和6年12月12日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から「ともかくも あなたまかせの 年の暮れ」

小林一茶(こばやし いっさ)

校長 井久保 康彦

今年も1年いろいろとあったけれども、すべては仏様におまかせして年の暮れを迎えよう。という意味ですが、この句で詠まれている「あなた」とは仏、特に阿弥陀如来を指していると言われています。他力本願とも言われる阿弥陀如来への信仰は、一切を仏の導きにまかせることによって悔いのない人生を送ろうという心構えとなっています。

さて、12月10日の世界人権デーにちなみ、全校朝会で人権についての話をしました。さすがに3年生は公民の学習を通して基本的人権について知識がありますが、1・2年生は人権の定義が曖昧だったようなので整理して理解させたところです。人権とは端的に表現するならば「人として幸せに生きる権利」であり、「何人もその権利を侵すことができないもの」といえます。

学校生活は集団生活ですので、当然ながらいろいろな個性や考え方のぶつかり合いが発生します。そのなかでは、相手を尊重し、自分の主張を押しつけるのではなく、譲り合って折り合いをつけながら生活することが大切であることを話しました。なによりも「ひとりひとりが相手の気持ちを考え、相手が嫌がることをしないという自覚と責任を持つこと」そのことが相手の人権を尊重することにつながることを理解してもらいました。

ところで、船井総研ホールディングスの創業者の船井幸雄さんは「カガミの法則」という言葉で次のようなことを説かれています。

「悪口には悪口を笑顔には笑顔をとるように、反応してしまうのが人間であるということです。人間だけでなく、この世のすべての存在がその通りだとも言われています。AのBへの気持ちや行為が、あたかもカガミに映ったごとくに、BからAへとはね返ってくるのです。」

また、作家の小林正観さんは、「投げかけたものが返ってくる」という宇宙方程式や「言った言葉をまた言いたくなるようにセットされる」という方程式を唱えられています。「うれしい、楽しい、幸せ、ありがとう」という言葉をずっと言っていると、言った回数だけその言葉をまた言いたくなるようにセットされるということです。もし、誰かを傷つけるようなという言葉が口癖だったら、それは相手の人権を侵害する行為であると同時に、前述のお二人が唱えている「法則や方程式」のように、やがて自身に戻ってくることになるのかもしれません。

二学期に本校の生徒会では「ふわふわ言葉」を使う取り組みを行いました。今後も意識して相手のよいところを認め合う言葉や相手を励ます言葉を使うことで前向きなプラスの言葉が飛び交う環境を整えることで、人権を尊重し合える学校を目指したいと考えます。

主な行事予定

月	日	曜	12月中旬～1月の主な行事
12	14	土	持久走大会 1・2年学級PTA
	19	木	スクールカウンセラー来校
	22	日	PTA門松づくり
	24	火	終業式
	25	水	冬期休業(～1/8)
1	8	水	始業式 美化作業 視力検査
	9	木	3年実力テスト(～10日)
	11	土	土曜授業 立志式・立志記念講演
	17	金	第3回英語検定
	21	火	新入生説明会
	21	火	1・2年鹿児島学力・学習状況調査(～22日)
	23	木	スクールカウンセラー来校
	24	金	PTA役員選出に係る話し合い
	31	金	3年学級PTA

受賞関係

市読書感想文コンクール

優秀賞：森 海秋・尾崎妃菜 ★おめでとう★

特選：道上葉月

市英語暗唱・弁論大会 最優秀賞：田原若葉

優秀賞：山口敦士 入賞：児玉成海

税に関する作文

納税貯蓄組合会長賞：田島葉桜

出水税務所長賞：上 裕紀

努力目標

冬休みの生活設計を立てよう

一事徹底

登下校の交通ルールを守ろう

福祉体験教室

11月13日 福祉体験教室
～普段とは視点を変えて～

11月13日、阿久根市社会福祉協議会のみなさんに協力していただき、福祉体験教室を実施しました。

白杖を使って歩く体験や装具をつけて高齢になったときの体験、車椅子の体験などを通して、思いやりの心を持ち、自分を含めた地域に暮らす人々の日常生活の課題に目を向け、考えるきっかけとなりました。やがては、その課題を解決する行動ができるように、これからの学校生活で学びを続けていきたいと思います。



防災訓練（火災）

11月26日 防災訓練
～学校で火事があったときは～

11月26日、火災を想定した防災訓練を実施しました。今回は、校長不在、教科の授業中に火災発生という想定で行いました。

生徒の避難は素早くでき、通報や人員確認などもスムーズにできましたが、職員室に伝える内容は何か、消防署への通報時に伝えるべき内容は何かを考えさせられる訓練となりました。

消防の方の指導後に、消火器の使い方を学び、消防車を見させていただきました。いろいろな装備を見たり、触れたりすることができ、貴重な機会となりました。

災害時には、まずは自分の命を守る。そして周囲の人の命を守れるよう行動できるように訓練を積み重ねていきましょう。



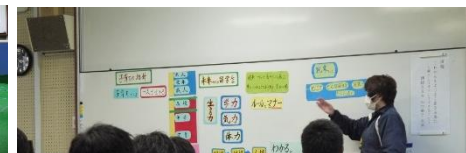
健康教室

11月29日 健康教室
～未来をよりよく生きるために～

11月29日、SSWの田口先生を講師に健康教室を開催しました。これからをどう生きるか。子育てにどのように取り組んだら良いか。などについて生徒及び保護者を対象にお話をいただきました。

保護者からは、子供が夢に向かって進んでいけるようにうまくサポートしていければ。1人で生きていけるように「生きる力」「自分で選択できる力」「考える力」を身につけてほしい。生徒からは、「わかるとできる」という言葉を大切にしたい。一番心に残っているのは、生きるための力の中の「体力」。何にでも粘り強くチャレンジし、体力を伸ばしたい。などの感想がありました。

キャリア教育視点からも参考になる講話の時間となりました。



11月19日、北薩法人会より手縫いで作られた雑巾をいただきました。保護者からの雑巾も年度の後半になると足りなくなりますので、ありがたい申し出でした。これからの清掃活動に活用し、ますますきれいな学校にしていきたいと思います。



11月22日、期末テスト1日目の放課後に職員研修を行いました。今回は、ざっくばらんに情報交換というかおしゃべりをしながら学力向上について研修ができたということ、担当者からサロン形式での提案があり、その形式で実施しました。

お茶を飲みながら、それぞれの取組を紹介したり意見を交換したりする中で、なごやかに研修を進めることができました。

今後もこのような機会をもち、よりよい研修となるように工夫していきたいです。



12月4日、1学期末に植えたサツマイモを掘り出してみました。予想はしていたものの、大きく育ったイモは収穫できませんでした。しかし、生徒は、そんな中でも楽しく活動していました。来年度はもう少し早く植えるように計画していきます。

